

だからこそ

でも

今 できる「特別活動」の実践紹介

①学級活動（1）の実践「〇年〇組スタート集会（よろしくね集会）をしよう」

待ちに待った新しい学級がスタートしました。「楽しいクラスにしたいな。」「新しい友達をたくさんつくりたい。」など期待をもっている子どもいれば、新しい環境に不安を抱いている子どもいると思います。それぞれの思いを受け止め、生かしながら、新しいクラスや友達とよいスタートが切れるような「スタート集会（よろしくね集会）」を実践していきましょう。

1. ねらい

クラスのみんなが仲よくなれる学級集会の内容を話し合っで決めることができるようにする。決まったことについて、友達と協力しながら準備をし、実践できるようにする。

2. 展開

	児童の活動	支援（○）と評価（☆）
事前	<ul style="list-style-type: none"> 計画委員が活動計画を作成する。 議題や提案理由などを計画委員が学級全員に知らせる。 学級会ノートに自分の意見を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動計画書に記入しながら、学級会の進め方を確認し、計画できるようにする。 ○事前に意見を書いておくことで、意見をもって話し合いに参加できるようにする。
話し合い（学級会）	<ol style="list-style-type: none"> はじめの言葉 計画委員（司会グループ）の紹介 議題の確認 提案理由の確認 めあての確認 決まっていることの確認 話し合い <ul style="list-style-type: none"> 話し合うこと① 「何をやるか決める」 話し合うこと② 「工夫を決める」 決まったことの確認 振り返り 先生の話 おわりの言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ○進行司会は、話し合いの進め方が確認できるように台本を見ながら行う。 ○決まっていることは提示しておく。 （例：場所、日にち、時間など） ☆計画委員として司会や記録などの役割を果たしている。【思考・判断・表現】 ☆友達の考えを認めながら、よりよい解決方法や実践の仕方を考えて話し合いに参加している。【思考・判断・表現】 ○司会グループの頑張り、めあてや友達を意識した意見や態度などを見つけて称賛するとともに、実践への意欲付けを行う。
事後	<ul style="list-style-type: none"> 集会の役割分担をする。 役割ごとに準備をする。 集会を開く。 振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○役割は複数人で担当して、3密を避けながら協力してできるようにする。 ☆決まったことをもとに、友達と協力して、進んで集会の準備に取り組んでいる。【主体的態度】

計画委員全員が集まるのが難しい場合は、**司会と提案者を中心に**計画を立てることも考えられます。

他に「話し合いのめあて」や「話し合うこと」も伝えます。**掲示して伝える**ことも考えられます。

今の状況では話し合いのめあてや決まっていることの中に、「**3密にならない**」という言葉や条件を入れておく、実践可能な、より工夫された意見が出され、充実した話し合いになると考えられます。

集団としての行動が難しい状況だからこそ、**話し合いでは相手やクラスのことを意識した発言ができるように**支援していきたいですね。



指導のポイント

3ヶ月の自粛生活で、子どもたちは友だちとの「心の密」を深めたいという願いをもっています。この状況の中でも自分たちのクラスや学校をよりよくしていくために話し合い、協働して実践できる子どもたちを育てていきましょう。6月15日以降の文科省が示すところの「レベル1」の状況を想定しています。

②自分のよさを生かし、創意工夫を凝らした豊かな学級づくり ～係活動をしよう～

係活動は、友達と内容について相談をしたり、協力して何かを作ったりと、「長時間、近距離で対面形式のグループワーク」になりがちです。一方で係活動に取り組むことで、「どうすれば距離を保ちながら、自分たちの企画ができるかな?」「なるべく密にならずに、クラスを盛り上げるいい方法はないかな?」と、子どもたち自身が自分事として考えるきっかけになると思います。新しい生活様式の中の、新しい係活動の行い方を子どもたちと見つけていく経験ができるのは、集団でいるからこそです。その経験が、これからの社会を生きていくうえでも大切なスキルの一つになると思います。3密を避けながら活動する工夫を児童にも考えさせつつ、必要な指導を行いながら慎重に係活動に取り組んでいただければと思います。

例えば、このような方法はどうですか?



① 係を決めよう!

●学級会で話し合っ決めて。

●係活動でクラスを盛り上げたい!でも、すぐに学級会ができるか不安.....

- ① 事前にアンケートで希望を募り、アンケート用紙を何日間か掲示しておきます。
 ☝そうすることで、空いている時間を使って子どもたち一人一人が「どの係にしようかな?」とゆっくり考えることができます。
- ② 興味のある係の表示の下などに、ネームプレートを貼ることで、人数バランスなどを確認することができます。
- ③ 朝や休み時間を利用して全体で話し合う時間を設けて決めます。

こんな係があるよ 一覧表

「係とは...自分の好きなことや興味のあることで、工夫を重ねて、クラスを盛り上げる・楽しませる活動。自分おいても、クラス優先、続けることが大切。グッズや掲示物、集会、帰りの会で表現、学活の時間に集会、活動例(★の数は必ずすめ度です。)

係名	朝学習などで	学級会で
おりがみ係	折り紙の本を読んで、コレクションを作る。	折り紙係主催の集会を提案
フルーツ係	くだものの飾りを作って係コーナーに飾る。	フルーツ係主催の集会を提案
くじ引き係	くじ引きの景品を作る。	くじ引き係主催の集会を提案
ルーレット係	みんなが遊べるルーレット作り	ルーレット係主催の集会を提案
いきものニュース係	好きな生き物をクローズアップして、新聞やカードなどを作って掲示する。	生き物ニュース係主催の集会を提案
ロボット係	みんなが遊べるロボットを作る。	ロボット係主催の集会を提案
ロケット係	みんなが遊べるロケットの工作を作る。	ロケット係主催の集会を提案
どうぶつ係	好きな動物の紹介をする新聞を作る。	どうぶつ係主催の集会を提案
アクセサリ係	アクセサリを作る。	アクセサリを発表する集会を提案
町作り係★★★	めいろやジオラマ作り	作った町を発表する集会の提案
国語チャンピオン係★	漢字や言葉に関する豆知識を調べる。	国語チャンピオン祭りの提案
名言作り係★★	その時、その場に合った名言を書いてはる。	名言集会の提案
魚係★★	おすし、魚料理の紹介。	魚祭りの提案
おかず係★★	おかずのイラストやランキングの発表。	おかず祭りの提案
おかし係★★	おかしのイラストやランキングの発表。	おかしフェスの提案
名所おすすめ係★★★	名所おすすめコーナーをつくる。	名所まつりを提案
まちがいさがし係★★	まちがいさがしをつくる。	まちがいさがし集会を提案
おわらい動物ものまね係★	動物ものまねの研究。	動物ものまねパーティーの提案
福引き係★★	福引きのグッズ作り	福引きパーティーの提案。

係学年向けです。

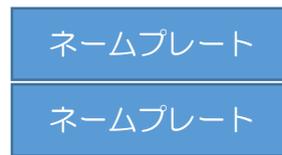
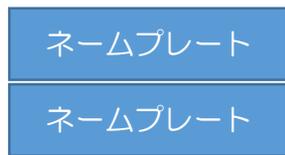
係希望アンケート用紙と掲示のイメージ例

係でクラスを盛り上げよう!こんな係をやりたい!

係

この係を作りたい理由

活動内容



係のアイデアが子どもから出てこない場合には、係の例示をしてあげると、子どもたちもイメージをもちやすいです。



② ポスターを作ろう！

●パーツを組み合わせて作る。

→係名、メンバー、活動のめあて、活動内容、周りの装飾など、分担を決めて各々でパーツを作製することで、一か所にまとまって長時間作業することを防ぐことができます。

<係ポスターの工夫例>

係名の工夫



写真を載せるとメンバーが分かりやすい。

※今は個人写真を工夫して使うことが考えられます。



自分の姿を作製する。



パーツを分けて作製しているので、それぞれの机で作業ができます。
見栄えも華やかになり、教室がワクワク感に包まれます！



③ 活動する内容を決めよう！

●フィジカルディスタンス・3密を意識しながらできる活動の例示

- ・遊び係→3密等を避けるための条件を教師が示したうえで、遊び方を考えるようにする。
- ・マスコット係→感染予防オリジナルキャラを一人一人に募集して、投票で決める。
- ・新聞係→週替わり新聞と題して、メンバーが交代で作成し、掲示する。
- ・ランキング係→投票用紙、集計、掲示物作成など、役割を決めて活動する。
- ・読書係→休校中に読んだ本を紹介するとよいことなどを助言する。
- ・お笑い係→先生の似顔絵を誰が一番面白く描けるか大会を開く。
- ・イラスト係→オリジナルのぬり絵を作って、みんなに塗ってもらう。
- ・かざり係→分担して作製したかざりを教室に掲示する。
- ・マンガ係→コマを分担して描き、最後に組み合わせて一つのマンガを作る。
- ・アイデアグッズ係→「フィジカルディスタンスをとって並ぼう！」と書いたポスターを作るなど、感染予防をみんなが意識できるようなグッズを作る。

◎教師から守るべきことは伝えつつ、まずは子どもに考えさせながら、できることを見つけていくのはどうでしょうか？教師では思いつかない新たなアイデアが見つかるかもしれませんね！

指導のポイント

係活動は、自分のよさや得意なことを生かすことで自己実現につながり、クラスのみんなを楽しませるものとしてみんなの役に立つという社会参画にもつながる活動です。こんな時期だからこそ、係活動を通して自分のよさをどのように生かせるか、友達や教師と一緒に考える時間を設けてみるのはどうでしょうか。

児童会活動 「1年生歓迎TV集会」

5月15日の文部科学省の通知では、再開後の学校教育について、「学校行事等も含めた学校教育ならではの学びを大事にしながらか教育活動を進めていく」と示されています。

「1年生歓迎集会（1年生をむかえる会）」を通して、1年生は小学校生活への期待と喜びをもち、2～6年生は1年生を心から歓迎する気持ちと上級生としての自覚をもつことにつながります。だからこそ、「1年生歓迎集会」を中止にするのではなく、**どうすれば可能なのかを考える**ことが大切です。

1. ねらい

1年生の入学を全校児童で祝い、1年生が学校生活への希望をもてるようにする。また、2～6年生は上級生としての自覚をもち、これから一緒に学校生活をおくっていくことへの意識を高める。

2. 1年生歓迎TV集会

	活動の内容	支援（○）と評価（☆）
事前	1. 1年生に伝えたい内容を決め、 動画の撮影 をする。（各学年3分以内程度の動画） ○各学年の出し物の例（動画） 2年「朝顔の種のプレゼント」 3年「学校生活の紹介・クイズ」 4年「先生紹介・クイズ」 5年「学校のすてきなところの紹介・クイズ」 6年「学校の歴史・キャラクターの紹介・クイズ」	○1年生に伝えたい内容について、2～6年生の子どもたちの思いを汲み取るようにする。 ○学年で集まるのが難しい場合は、 クラスごとに撮影したり、クラス代表を募って発表したりするなどの工夫 が考えられる。 ☆1年生が学校生活への希望がもてるようにするために、 どんなことを伝えたらいいのか 理解している。【知識・技能】 ☆1年生が学校生活への希望がもてるようにするために、 自分たちの思いが伝わるような出し物 を考え、表現している。【思考・判断・表現】
当日	2. 1年生歓迎TV集会 ①はじめの言葉 ②校長先生の言葉 ③2～6年の出し物 ④終わりの言葉 	○ 各教室で 参加する。 ○各学年のタイミングで動画を見るなど、時間を工夫することも考えられる。
事後	3. 1年生から2～6年生に 感謝などの気持ちを伝える動画 を送る。 4. 2～6年生は、1年生からの動画を見て振り返りを行う。 1年生は、集会に対しての取組について、振り返りを行う。	○1年生歓迎TV集会の感想や、学校生活への楽しみなどを伝えられるようにする。 ○クラスごとに模造紙やカードなどで感謝の気持ちを伝えることも考えられる。 ☆自分の思いを伝えようと 考え、表現している 。【思考・判断・表現】 ○動画を撮影したときの思いや、これからお互いにもどのように関わりたいのかなどについて振り返ることができるようにする。 ☆集会における自分の参加の仕方などについて振り返り、今後の学校生活に生かそうとしている。【主体的態度】

指導のポイント

子どもたちが、自分たちで集会をつくり上げたという実感をもてるようにするためには、教師の適切な指導と助言が大切だと考えます。そのためには、6年生の子どもたちが、2～5年生の子どもたちに、手紙や新聞などを使って、1年生歓迎集会について提案することが望ましいです。また、1年生に伝えたい内容については、子どもたちの思いを汲み取ることが大切です。もし、どんな内容を伝えたらいいのか考えをもてない場合には、教師がいくつか案を示し、その中から子どもたちが選ぶことも考えられます。1年生に伝えたいテーマや内容が重ならないように、各学年のテーマや内容について児童会担当などの教員が検討することも必要です。